

芸術鑑賞会を行いました。

11月12日、体育館で芸術鑑賞会を行いました。劇団「東京芸術座」の皆様をお招きし、「未来」という演劇を披露していただきました。いじめを題材とした内容の演劇で、非常に考えさせられる内容となっていました。

演劇を見た生徒は、「迫力のある演技で、始まった瞬間から引き込まれた。」「登場人物になりきっていて、現実起こったことをそのまま見ているようだった」といった感想を述べており、とても感動した様子でした。



馬木小学校3・4年生が学校見学に来られました！

本学院では、受験を検討する高校生だけでなく、PTAや小中学生の学校見学も受け入れています。この度、馬木小学校3・4年生の児童13名が、医療分野の職業理解を深めることを目的に来校されました。当日は、理学療法学科、作業療法学科2年生の学生も参加し、実際に用いられるリハビリテーションの療法を楽しく体験していただきました。仕事の内容や魅力が伝わり、子どもたちが将来を考える上で有用な機会となれば幸いです。



【理学療法体験】

病気やケガにより身体が不自由になっても、立つ、歩くなどの基本的な身体能力の再獲得を目指す理学療法。

この日は、患部の痛みを和らげるために用いる「温熱療法」を体験してもらいました。溶けたパラフィン(ろう)の温度は約50度。温度を聞いて、熱くないか心配する子どもたちでしたが、パラフィンが熱伝導が低いため、パラフィンにつけた手はポカポカで良い気持ちになり、驚いている様子でした。



【作業療法体験】

身体に障がいがあっても、その人らしく生活できるようにサポートする作業療法。

この日の体験では、自助具という身体の動きの補助をする福祉用具が、どんな場面に使われるのかO×クイズなどを行いました。そして、実際に食事を食べる時に使うスプーンで物をすくう体験もしてもらい、子どもたちは夢中になって取り組んでいました。



みんなの掲示板

放送大学4月生募集のお知らせ

- 放送大学は、令和4年4月入学生を募集しています。
 - 10代から90代の幅広い世代、約9万人の学生が、大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で学んでいます。
 - 心理学・福祉・経済・歴史・文学情報・自然科学など約300の幅広い授業科目があり、1科目から学ぶことができます。資料を無料で差し上げます。お気軽に放送大学島根学習センターまでご請求ください。放送大学ホームページでも受け付けております。
 - 出願期間は、第1回は11月26日から2月28日まで、第2回は3月15日まで。
 - ◆ 日時 (入学説明会・相談会(松江会場))
 - 12月25日(土)・2月13日(日) 3月6日(日)
 - ◆ 日時 (入学説明会・相談会(出雲会場))
 - 1月16日(日)・2月27日(日) 各13時
 - ◆ 場所 出雲中央図書館
 - ◆ お問い合わせ 島根学習センター
- 08552-288-5500

木次線の思い出やエピソードを募集しています! 12/31まで



木次線利活用推進協議会では現在、下記の団体主催で、木次線への思い出やエピソード、応援メッセージなどを募集しています。

木次線にまつわるお話しをお持ちの方、どんな小さな事でも構いません。

通勤、通学、買い物、旅行、日々の暮らしの中での木次線との関わるお話しがありましたら、応募用紙に記入のうえ下記実行委員会までお送りください。

SNS発信などで、木次線の利用促進につなげます!

【主催】 雲南市演劇によるまちづくりプロジェクト実行委員会(後援:木次線利活用推進協議会)

【応募資格】 どなたでもご応募いただけます!

【応募方法】 木次線利活用推進協議会ホームページ、または右記のQRコードより、応募用紙をダウンロードし、名前、年齢、住所、連絡先、公表の可否を記入して応援メッセージや思い出などをお送りください。

【募集期間】 令和3年12月31日(金)まで



新・地域おこし協力隊の紹介

11月1日から新たに1名の隊員が奥出雲町農業公社で和牛繁殖育成や子牛成牛の飼養管理などの業務を行っています。

森山 聡美隊員(農の担い手応援隊) 協力隊としての3年間で和牛に対する専門知識を多く身に付けて、退任後は、繁殖・肥育の一貫経営を目指します。



地域おこし協力隊の現場を訪ねて

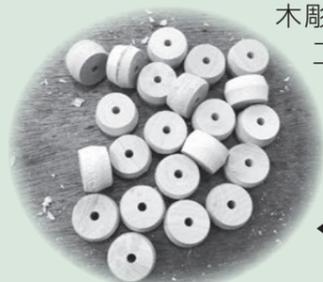
今回紹介するのは、令和3年4月からそろばんと工芸の館でそろばん珠削り職人として活動されている信太直人(しだなおと)隊員です。

信太隊員はどのような仕事をされていますか?

そろばん作りには187の工程があります。それぞれのスタッフが1つの工程を受け持ち、表面の研磨や材料の切断を行っています。私は、材料であるツゲの板版を丸い形にくり抜く荒珠削りとそろばんの枠を取り付ける等の組み立てを行っています。

何がきっかけで珠削り職人になられましたか?

私が生まれ育った北海道や鹿児島県には、熊の木彫りや薩摩切子などの伝統工芸品があり、自身も「ものづくり」に携わりたいと思っていました。その時に「奥出雲町地域おこし協



◀ツゲの板版を丸い形にくり抜いた荒珠



力隊「そろばん珠削り職人」の募集が目にとまり応募しました。

信太隊員の今後の目標は何ですか?

私は、荒珠削りを行っていますが、この丸い形からそろばんの珠の形に削る作業をできる職人が町内にはいません。現在は、丸くり抜いた珠を、兵庫県に送り、そろばんの珠の形に削ってもらっています。このそろばんの珠の形に削る作業を、兵庫県へ行き、身に付けることが私の今後の目標となります。

今後の意気込みを教えてください。

そろばんを一通り作れるように技術を身に付け、実りのある3年間を過ごしたいと思います。